

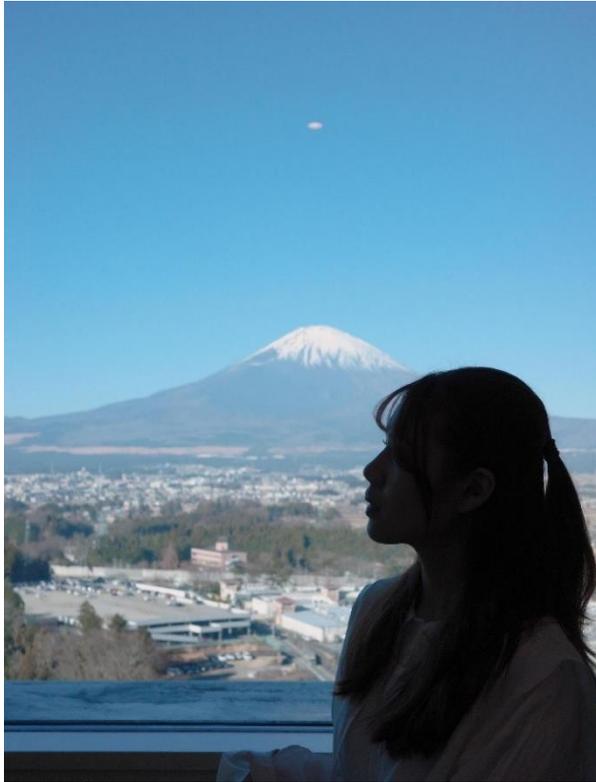
お茶大での交換留学体験

台湾 東海大学

黄澄臻（ファン・インジェン）

2024年を迎え、私の留学生活も終わりを告げます。東京に到着した日の暑い夏、イチョウが咲き乱れて紅葉が美しい秋、そして大雪が舞った冬。半年という短い期間でも、3つの季節を過ごし、日本の様々な姿を見ました。

留学中は色々な場所に旅行しました。東京都心だけでなく、鎌倉、川越、軽井沢なども訪れました。夏には河口湖で富士山を眺め、冬には草津温泉に入りました。宿題や卒論に追われる中、旅行はまるで私の救いとなりました。そして、海外での初めての誕生日、クリスマス、年越しも経験し、元旦には初詣も行きました。この半年は充実し、多くの思い出を作りましたが、同時に日本への愛も、更に深まりました。



そして、最も別れを惜しむのは、この時間を共に過ごしたお茶大と、ここで出会った友達です。今学期で一番印象深いのは、三好先生の「Facilitation」の授業です。日本語学習には関係ありませんが、異なる国や文化的背景を持つ人々と交流する機会は増えました。幸いなことに、皆さんと友達になれて楽しい時間を過ごせました。この授業で自分自身を発見し、傾聴し、自分表現も学びました。これは留学前には学んだことのないものです。この意義深い授業を受けられて幸いです。

最後に、留学期間に支えてくださった皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、私の指導教官である坂元先生に感謝します。忙しい中、毎月の振り返りシートを読んでくださり誠にありがとうございました。一対一の面談でも、私の緊張感をほぐす為に、いつも優しくご指導くださり、お気遣いに感謝しております。また、個人チューターの汪さんにも感謝します。汪さんは私が初めて入学した頃、すべてが未知で不安な時に多くの助けを提供してくれました。そして、萩原先生や国際課、寮の管理者の皆様にも、入学前から様々な情報や活動を用意してくださり、多くの複雑な手続きにも積極的に協力して下さりまして本当にありがとうございました。また、様々な交流会や文化教室を心を込めて用意して下さったスタッフさんにも感謝します。皆様のおかげで、異国で生活する私達も居場所を見つけるようになりました。最後に、教えてくださった先生方にも感謝します。お茶大に来る前に、留學生活がこれほど豊かで素晴らしくなるとは思っていませんでした。皆様のおかげで、この半年は私の人生で最も特別な時間となりました。ここで出会ったすべての人や物事に感謝します。これからもこの大切な思い出を胸に、精一杯生きていこうと思います。



私は「一期一会」という言葉が好きです。再び皆様と会うのは難しいでしょう。だからこそ、一生に一度きりの出会いを大切にします。留學が終わるのは私にとって終わりではなく、新しい生活の始まりです。ここで出会ったすべての方がこれからも幸せで溢れますように、将来のいつかまたお会いできる日を楽しみにしております。